

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進に係る検証のための研究」

分担研究報告書

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業検証

～KDB 活用状況の実態より～

研究分担者 樺山 舞 （大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

研究要旨

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業推進においては、KDB データシステムを活用して地域の高齢者の全体像を把握して必要な人に必要なサービスが行き届くように計画を立てること、そして、事業評価を行い地域にあったよりよい方法を工夫していくことが重要なポイントの一つとなる。これには、KDB システムを効果的に活用することがキーとなるが、そのノウハウや活用状況については自治体間で格差が認められている。今回、我々は事業推進に向けてその支援のポイントを明らかとするために、大阪府下で本事業に取り組んでいる自治体において、PDCA サイクルのそれぞれの場面における KDB 活用状況を調査したため報告する。

A. 研究目的

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業推進においては、KDB データシステムを活用して地域の高齢者の全体像を把握して必要な人に必要なサービスが行き届くように計画を立てること、そして、事業評価を行い地域にあったよりよい方法を工夫していくことが重要なポイントの一つとなる。これには、KDB システムを効果的に活用することがキーとなるが、そのノウハウや活用状況については自治体間で格差が認められている。今回、我々は事業推進に向けた示唆を得るために、大阪府下で本事業に取り組んでいる自治体において、PDCA サイクルのそれぞれのステップにおける KDB 活用状況を調査した。

B. 研究方法

〈対象〉令和3年度第1回高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る企画調整担当者連絡会議（R3.8）へ参加の26市町村（回答自治体数25）。

〈方法〉アンケートは、大阪府国保連合会および大阪府後期高齢者広域連合が、KDB 活用支援に役立てるための目的で実施した。KDB 活用状況について、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた医療専門職のための KDB システム活用マニュアル」を参照し PDCA に沿って表1に示した項目についてリッカート方式で活用状況を尋ねた。また、KDB 活用にあたり困難な事や必要な支援、活用していない場合はその理由について具体的に記載を求めた。

表 1. KDB 活用状況アンケート

項目		回答	
地域の健康課題の把握 (plan)	1	・被保険者の構成の確認	1・2・3・4
	2	・地域の平均寿命・健康寿命の確認	1・2・3・4
	3	・介護を必要としている人の状況の確認	1・2・3・4
	4	・被保険者の健康状態の確認	1・2・3・4
	5	・地域の社会資源の状況の確認	1・2・3・4
対象者の抽出 (plan)	6	・栄養に課題のある人の抽出	1・2・3・4
	7	・口腔に課題のある人の抽出	1・2・3・4
	8	・服薬に課題のある人の抽出	1・2・3・4
	9	・糖尿病性腎症重症化予防のための対象者抽出	1・2・3・4
	10	・生活習慣病の重症化に課題のある人の抽出	1・2・3・4
	11	・重複・頻回受診者、重複服薬者の抽出	1・2・3・4
	12	・健康状態不明者の抽出	1・2・3・4
事業の実施 (do)	13	・抽出した対象者を”事業実施予定者”として KDB システムの「介入支援対象者一覧」へ登録	1・2・3・4
	14	・事業実施予定者のレセプト状況を確認	1・2・3・4
	15	・事業実施予定者の健診結果を確認	1・2・3・4
	16	・「介入支援対象者一覧」へ結果を記録する	1・2・3・4
事業の評価 (check)	17	・事業実施前後に対象者個人を抽出して改善状況の確認	1・2・3・4
	18	・事業実施前後で地域全体を評価	1・2・3・4

1：KDB を十分活用して行っている

2：KDB を活用しているが不十分

3：行っているが、KDB は活用していない

4：行っていない

C. 研究結果

対象 26 市町村のうち、25 か所から回答を得た。

【KDB 活用：事業全般】

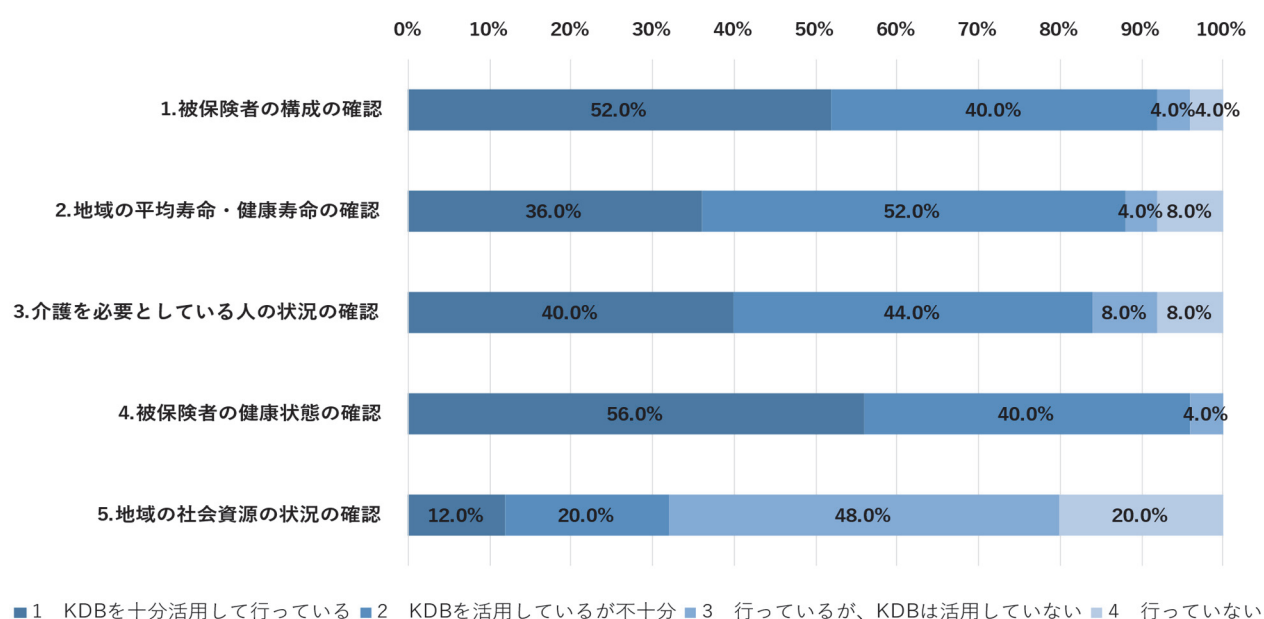
「事業実施に取り組むにあたり、KDB システムを活用していますか？」に対しては、‘非常に活用している’が 44%、‘ある程度活用している’が 56%であり、全く活用していないと回答した市町村は無かった。非常に活用している市町村の状況としては、課題分析、対象者抽出に不可欠であるため、という回答があった。一方で、さらなる加工と活用

(個人レセプトとの突合、KDB と独自システムとの併用、日常生活圏域ごとの分析、評価への活用、エクセル等ノウハウの課題) への課題や支援への要望に関する記述が認められた。「取り組むにあたり、KDB システム活用マニュアル及びワークシートを活用していますか」に対しては、‘非常に活用している’が 28%、‘ある程度活用している’が 52%、‘全く活用していない’が 20%であった。活用の際して帳票一覧があると良い、情報の分析解釈が分からないという記載が複数あった。また、活用していない市町村からは、

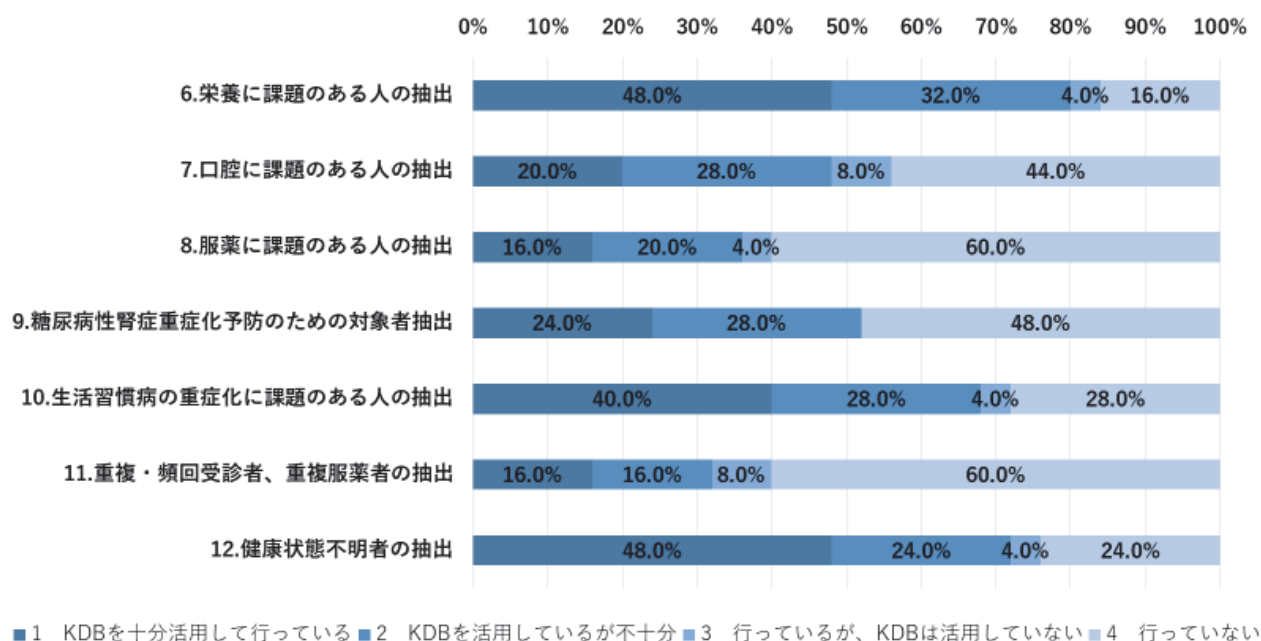
マニュアル等の存在を知らないという記載が多く認められた。「個別のKDB活用支援を希望しますか」に対しては、「希望する」が87.5%、「希望しない」が12.5%であり、希望内容としては、KDBの具体的な活用方法、分析方法、評価への活用における支援であった。

【KDB活用：PDCA各段階】

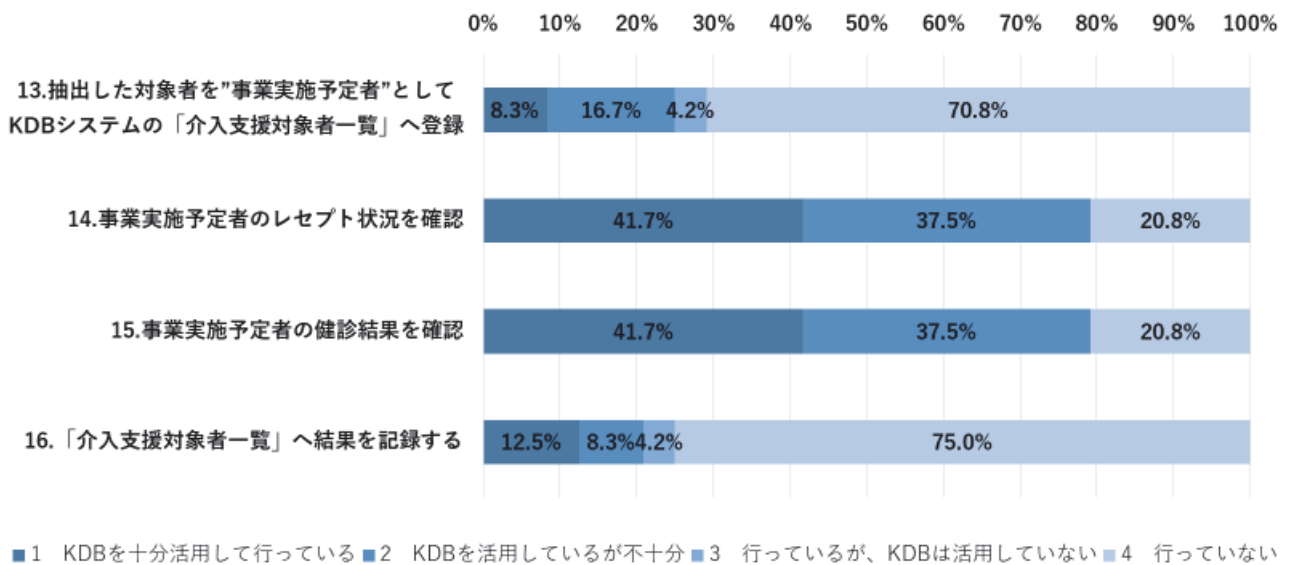
1. 地域の健康課題の把握 (Plan)



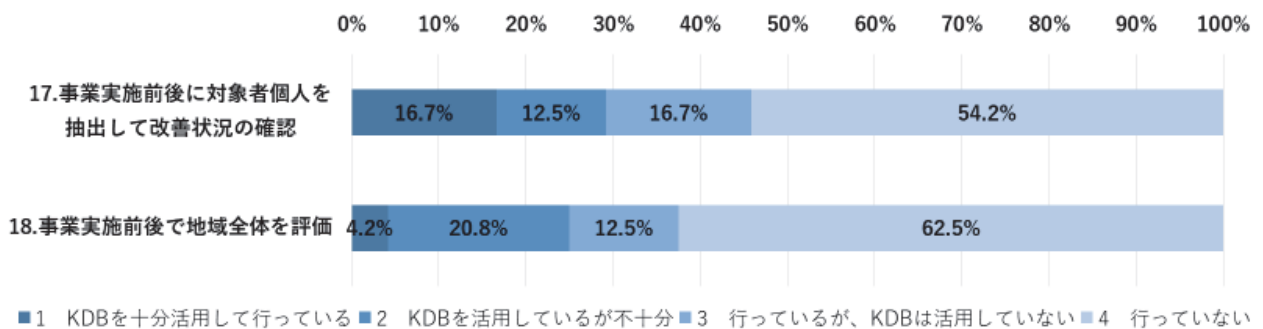
2. 対象者の抽出 (Plan)



3. 事業の実施 (do)



4. 事業の評価 (check)



D. 考察

結果より、大阪府下で一体的実施に取り組む全自治体が KDB システムを活用していることが明らかとなった一方で、活用程度には差が認められた。どの段階においても、そのデータ加工および解釈に関する支援ニーズが把握された。地域課題の把握においては、KDB を 90%程度の市町村が活用していたが、「活用しているが不十分」と回答したところが約半数を占めていた。対象者の抽出については、特に、栄養および口腔に課題がある対象者、また健康状態不明者の抽出について活用割合が高かった。自由記載において、抽出後の対象者の選定、展開が分からな

いので参考例を知りたいという記載が複数認められた。事業の実施および評価に関しては、対象者のレセプトや健診結果の確認で約 40%の市町村が十分活用していたが、介入登録、結果の記録、事業評価においては十分な活用をしていたのは 4～16%程度にとどまっていた。自由記載には、事業評価に活用していきたいが、操作方法が分からないという回答が複数みられた。また、活用サポートのためのマニュアル等については、その存在を知らない、という記載が多く認められ、担当者の異動に伴う引継ぎの欠如により、支援そのものが届かない状況となっていることが改めて確認され、引継ぎへの対

策等が必要であると考えられた。他市の分析事例や好事例を知りたいという要望も多く記載されており、具体的な分析モデルを、その操作方法から提示するような支援を行うことで効果的に KDB を活用し事業展開につなげていける可能性が示された。

E. 結論

全自治体が KDB を活用して事業に取り組んでいる一方で、活用状況には格差があること、また PDCA 各段階においては、評価活用には至っていない自治体が多かった。今後、より具体的な分析事例を示し、横展開する支援が必要があるが考えられた。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

【原著論文】

1. Sekiguchi T, **Kabayama M**, Ryuno H, Tanaka K, Kiyoshige E, Akagi Y, Godai K, Sugimoto K, Akasaka H, Takami Y, Takeya Y, Yamamoto K, Yasumoto S, Masui Y, Ikebe K, Gondo Y, Arai Y, Ishizaki T, Rakugi H, Kamide K. Association between protein intake and changes in renal function among Japanese community-dwelling old people: The SONIC study. *Geriatrics & Gerontology International*. 2022. (in press.)
2. Yaya Li, **Kabayama M**, Winston Tseng, Kamide K. The presence of neighbours in informal supportive interactions is important for mental health in later life. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. <https://doi.org/10.1016/j.archger.2022.104627>
3. Murotani Y, Hatta K, Takahashi T, Gondo Y, Kamide K, **Kabayama M**, Masui Y, Ishizaki T, Matsuda K, Mihara Y, Fukutake M, Nishimura Y, Akema S, Hagino H, Higashi K, Togawa H, Maeda Y, Ogata S, Moynihan P, Ikebe K. Oral Functions Are Associated with Muscle Strength and Physical Performance in Old-Old Japanese. *Int J Environ Res Public Health*. 2021;18(24):13199.
4. Klinpuatan N, **Kabayama M**, Godai K, Gondo Y, Masui Y, Akagi Y, Srithumsuk W, Kiyoshige E, Sugimoto K, Akasaka H, Takami Y, Takeya Y, Yamamoto K, Ikebe K, Yasumoto S, Ogawa M, Inagaki H, Ishizaki T, Arai Y, Rakugi H, Kamide K. Association between physical function and onset of coronary heart disease in a cohort of community-dwelling older populations: The SONIC study. *Arch Gerontol Geriatr*.2021;95:104386. doi: 0.1016/j.archger.2021.104386. March 4, 2021
5. Fukutake M, Takahashi T, Gondo Y, Kamide K, Masui Y, Matsuda K, Enoki K, Takeshita H, Mihara Y, Hatta K, Sato H, Murotani Y, Hagino H, **Kabayama M**, Ishizaki T, Sugimoto K, Rakugi H, Maeda Y, Moynihan P, Ikebe K. Impact of occlusal force on decline in body mass index among older Japanese adults: Finding from the SONIC study. *J Am Geriatr Soc*.202 69(7) 1956-1963 doi: 10.1111/jgs.17106. 2021 Mar 24
6. Tanaka K, **Kabayama M**, Sugimoto K, Akasaka H, Takami Y, Takeya Y, Yamamoto K, Sekiguchi T, Kiyoshige E, Akagi Y, Godai K, Yasumoto S, Masui Y, Gondo Y, Ikebe K, Arai Y, Ishizaki T, Rakugi H, Kamide K. the SONIC study group. Association between uric acid and atherosclerosis in community-dwelling older people: the SONIC study. *Geriatr Gerontol Int*. 2021; 21(1): 94-101. <https://doi.org/10.1111/ggi.14081>

7. 吳代華容, **樺山 舞**, 神出 計, 野上素子, 春日彩花, 安元佐織, 増井幸恵, 赤坂 憲, 池邊一典, 石崎達郎, 樂木宏実, 榎藤恭之. 地域在住後期高齢者における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動量の変化とその関連因子についての検討. 日本老年医学会雑誌. 2021 ; 58 : 591 - 601
doi:10.3143/geriatrics.58.591
8. トシンメイ, **樺山 舞**, 黄 雅, 赤木優也, 吳代華容, 清重映里, 畑中裕美, 橋本澄代, 菊池 健, 神出 計. 地域通いの場に参加する高齢者におけるフレイルの実態といきいき百歳体操効果の縦断的検討～大阪府能勢町いきいき百歳体操効果検証～. 日本老年医学会雑誌.
Doi:10.3143/geriatrics.58.459. 2021.:58:459-469
9. 崔 煌, 榎藤恭之, 増井幸恵, 中川 威, 安元佐織, 小野口航, 池邊一典, 神出 計, **樺山 舞**, 石崎達郎. 高齢者の社会参加と主観的幸福感-近隣ソーシャルキャピタルとの関連に着目して. 老年社会科学. 2021年4月.日本老年社会学会 43 卷 1 号 5～14 頁

【総説等】

1. Kamide K, Tseng W, **Kabayama M**. Health Promotion for Older Population in Japan: Importance of Preventive Care and Successful Assisted Living. Gerontology & Geriatrics/ Research. Gerontol Geriatr Res.2021;7(3): id1061.
 2. **樺山 舞**, 神出 計. 日本における高齢者コホート研究の成果と現状 SONIC 研究. 月刊老年内科. 2021;4:386-391.
- ### 【国内学会】
1. **樺山 舞**, 吉田寛子, 吳代華容, 神出 計. シンポジウム「フレイルと後期高齢者健診」通いの場における後期高齢者質問票の活用. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
 2. 神出 計, **樺山 舞**, 吳代華容, 樂木宏実. シンポジウム「高齢者疫学研究」SONIC 研究-健康長寿要因探求のための高齢者長期縦断疫学研究-. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
 - 樺山 舞**, 吉田寛子, 神出 計. シンポジウム講演 高齢者の低栄養対策と減塩. 第 9 回臨床高血圧フォーラム. 2021 年 5 月 16 日. 千里ライフサイエンスセンター. 大阪府豊中市.
 3. 野上素子, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 池邊一典, 安元佐織, 石崎達郎, 榎藤恭之, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における経済状況別に検討した人のつながりと認知機能との関連. 第 32 回日本老年医学近畿地方会. 2021 年 11 月 20 日. メルパルク京都
 4. 畑中裕美, **樺山 舞**, 木村ありさ, 橋本澄代, 吉田寛子, 中村祐子, 小林慶吾, 吳代華容, 菊池 健, 神出 計. 能勢町の通いの場における地域包括による支援と参加者のフレイルの実態. 第 32 回日本老年医学近畿地方会. 2021 年 11 月 20 日. メルパルク京都
 5. 中村祐子, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 新井康通, 増井幸恵, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における脂質異常症と身体的フレイル発症との関連における縦断解析:SONIC 研究. 第 32 回日本老年医学近畿地方会. 2021 年 11 月 20 日. メルパルク京都
 6. 東 万紀子, **樺山 舞**, 木村ありさ, 橋本澄代, 木戸倫子, 吳代華容, 菊池 健, 疋田晃浩, 田原康玄, 神出 計. 能勢町保健事業への参加経路の年代別特徴—新型コロナワクチン接種会場における取組. 第 32 回日本老年医学近畿地方会. 2021 年 11 月 20 日. メルパルク京都

7. 前山友理恵, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における糖尿病の血糖コントロールと精神的健康状態との関連. 第 32 回日本老年医学近畿地方会. 2021 年 11 月 20 日. メルパルク京都
8. 大畑裕可, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 山本浩一, 杉本 研, 池邊一典, 増井幸恵, 榎藤恭之, 石崎 達郎, 樂木 宏, 神出 計. 地域在住高齢者において骨関節疾患が将来の身体的フレイルへの進展に及ぼす影響の年代別の検討. 第 8 回日本サルコペニア・フレイル学会大会. 2021 年 11 月 6 日. 千里ライフサイエンス
9. 小林慶吾, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 一般口演〈疫学〉疫学 2 地域在住高齢者の高血圧とうつ傾向の関連性の年代・性差の検討—SONIC 研究一. 第 43 回日本高血圧学会総会. 2021 年 10 月 15 日—17 日. オンライン開催
10. 中村祐子, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 新井康通, 増井幸恵, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における血清 LDL 値と脳梗塞・虚血性心疾患, 動脈硬化症との関連における縦断解析: SONIC 研究. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
11. 井口真由香, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者の血糖コントロール状況が認知機能に及ぼす影響—SONIC 研究—. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
12. 大畑裕可, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 骨関節疾患を有する地域在住高齢者における身体的フレイルの要因についての検討. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
13. 野上素子, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者血圧患者における経済状況と血圧コントロールの関連. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
14. 田村彩乃, **樺山 舞**, 吳代華容, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者における疾患の種類と主観的健康感の関連の検討—SONIC 研究—. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.
15. 小林慶吾, 吳代華容, **樺山 舞**, 赤坂 憲, 榎藤恭之, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計. 地域在住高齢者の高血圧とうつ傾向の関連性の検討. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11-13 日. WEB 開催.

【講演等】

1. **樺山 舞**. 講演. 後期高齢者の保健事業と一体的実施～保健指導・フレイル予防の目指すところと地域づくりの重要性～令和 3 年度 第 3 回 高齢者の医療・介護・保健事業に関する研究会. 2022 年 2 月 24 日. Web 形式. 福岡県後期高齢者医療広域連合主催
2. **樺山 舞**. (1) 講演. 一体化実施に係る国の動向と進捗チェックリストガイドの活用について. 令和 3 年度第 1 回高齢者の保健事業セミナー. 2021 年 11 月 4 日. 国民會館 大阪府中央区. 主催: 大阪府後期高齢者医療広域連合
3. **樺山 舞**. 講演. 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の目指すところ」-より効果的な高齢者の健康増進と介護予防の推進を目指して- 令和 3 年度高齢者の保健事

業セミナー。 2021年8月24日.Web形式。

主催：滋賀県、滋賀県後期高齢者医療広域連合、滋賀県国民健康保険団体連合会

4. **樺山 舞**。 講演。 データ分析・健康課題の把握について-より効果的な高齢者の健康増進と介護予防の推進を目指して- 令和3年度第1回高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る企画・調整担当者連絡会議。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし